

IMPREZA



ORIGINAL 220ps

TURBO KIT



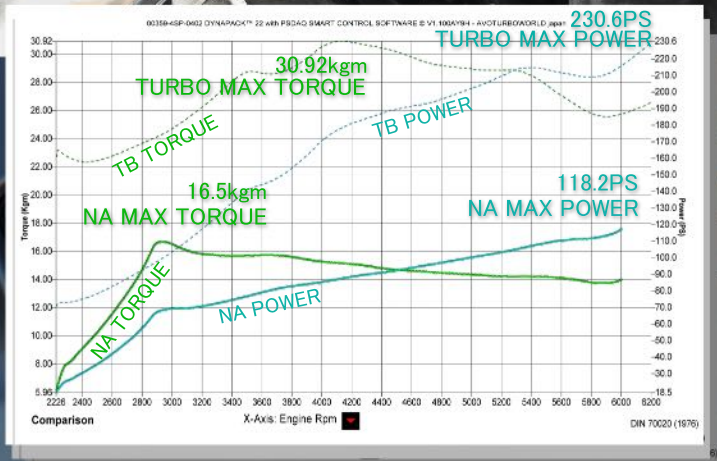
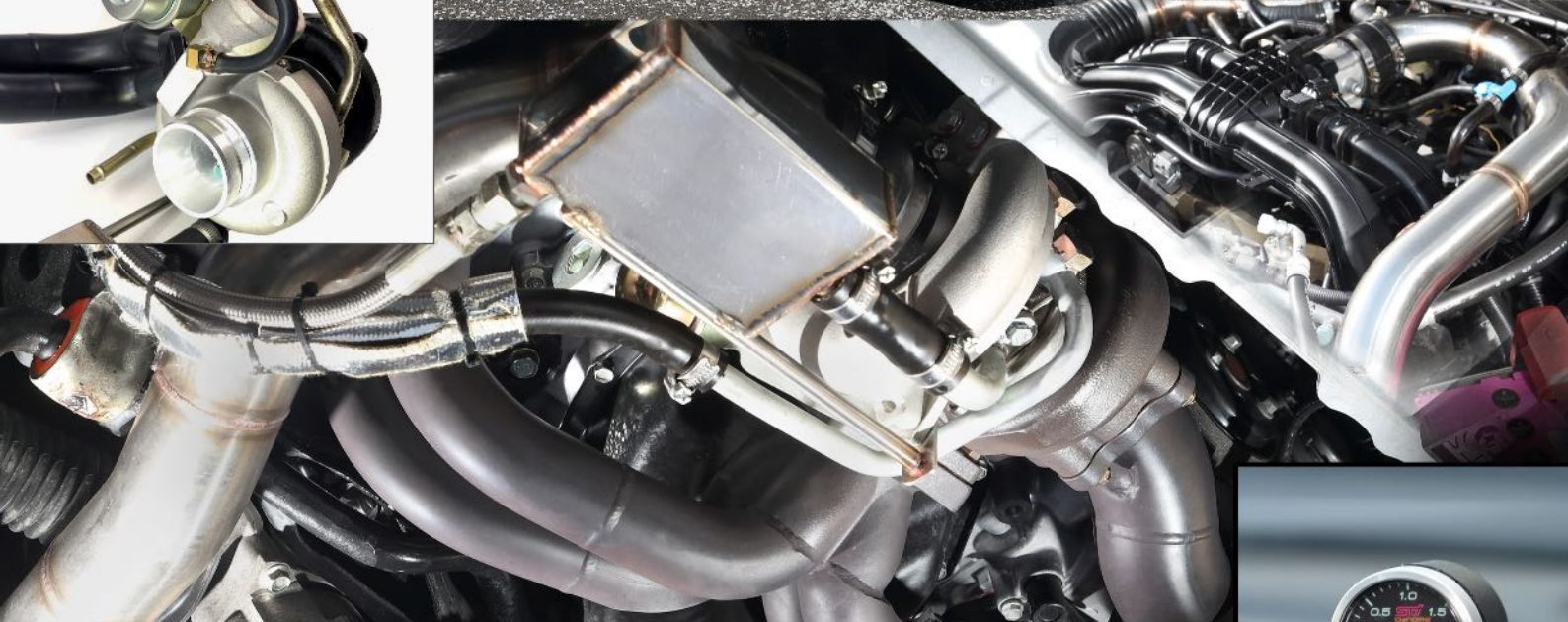
SUBARU IMPREZA GT7 / GK7

SUBARU XV GT7

AVO TURBOWORLD PROJECT GT7

200PS

※標準目標値



※ターボ仕様のグラフはAVOスポーツマフラーを装着

CONCEPT

インプレッサ GT7 及び XV の 2L ノンターボ車両をターボ化しハイレスポンス & 爽快な動力性能を追求しました。車両のポテンシャルを最大限に活かすべく最適な風量の AVO ターボワールドオリジナルタービンと専用設計のエキゾーストマニホールドを組み合わせることにより、タービン性能と排気効率を最適化。前置きながらも主張しすぎないブラック塗装の大型インタークーラーは AVO ターボワールドオリジナルのパープレート型です。パイピングは美しさと性能を重視したステンレス製としエンジンベイを美しく飾ります。専用オイルポンプにオイルライン及びブローオフバルブ、バキューム配管等も含むフルキットを開発しました。※当キットにコンピューターセッティングは含まれておりません。ターボキットを安心快適にお使いいただく為、弊社もしくは販売協力店にて実車セッティングを推奨いたします。



FINE TUNING



Koichi Inaba

AVOメンテのレガシイ乗りです。某スバル誌にて28万キロ超えBPLegacyのコラム書いてます。



インプレッサやXVの2L仕様はテンロクではちょっとパワーやトルクが足りないと感じる層に人気のある一台だ。

カタログ値 154 ps・20.0 kgf・m のFB20Dエンジンは街乗りには十分な実力。

そんなインプレッサにAVOターボワールドの江角さんから「ターボを付けてみたので乗ってみたい？」とお誘いを受けた。

AVOさんのボルトオンターボ仕様にはジムニーシエラに試乗した経験があるが、今回のGT7・インプレッサはNAとはいえ2LのCVT車両。これがターボチューニングによってどのようなキャラクターになるのだろうか？いざ出発！！

興味津々で走り出した直後の正直な感想は「普通のクルマ」。もともと排気量も十分にあるので不満点を探す方が大変だが、2車線道路になるとその実力の片鱗を現わしてきた。低回転からの厚いトルクはシグナルスタートや車線変更において車間距離の自由度が増し安全かつ気持ちよく走ることが出来る。しばらくして高速に入るとGT7インプレッサターボが本領を発揮。合流車線は言うまでも無く、坂道での追い越し加速などでも見事にストレスフリー。最近では時速120キロで走行できる区間も多くなってきたが、そんな場面でもアクセルを深く踏み込むことなくドライブ出来るだろう。

助手席の江角さんに車の仕様を聞いてみると、スポーツマフラーが入っているのが標準仕様と違う程度との事だが、シャシーダイナモでは230馬力とトルクも30kgf・mと初代のWRXと同じようなスペックだ。そこにAVOターボワールドが80年代より培ってきたCPU制御技術により馬力はスムーズにトルクは下から溢れ出す。これがCVTによりの確に出力されるのだから、なるほど自然と笑顔も零れだすというワケだ。



高速を降りてワインディングへ。

元々ハンドリングの良さで定評のあるインプレッサ。スマートなボディは林道風な道でも軽快そのものだ。かなり勾配のあるタイトコーナーでも小気味よく駆け抜けるのが印象的。低回転からの厚いトルクとスムーズに立ち上がるターボパワーは決して暴力的ではなく、むしろ「扱いきれる」安心感と痛快さを兼ね備える。ワインディング走行が多くなる方は僅かに締め込んだ足回りとブレーキパッドを好みに合わせて装着するとより楽しくなるだろう。

GT7ターボ仕様を街中から高速そしてワインディングを試走して浮かんだ文字は「大人のファインチューニングカー」だ。ボルトオンターボと言えばハードチューンの代名詞とを感じる方も少なく無いだろう。ターボキットをポンと組んだだけならそんなじゃじゃ馬キャラクターかもしれないが、先述したAVOターボワールドのコンピュータセットアップが秀逸な故なのであろう。

チューンドカーならではの気難しさを気にすることなく、走りはまるでベテランのアスリートのように懐が深い。時にアクセルをフラットアウトにすれば、背中には心地よい加速Gと共に口元は「ニヤリ」となる。ミドルクラスで元気の良いAWDの選択肢が少ない昨今、GT7ターボは注目のチューニングメニューと言えよう。



オイルキャッチタンクやオイルクーラー等のオプション品も試作が完了しているという。更なる楽しさが広がろうだ！

特報！





インプレッサGT7 ターボキット本体 453,200円(税抜)

パーツ NO : S2V18GS7A001T

ターボキット取付工賃 180,000円(税抜)

ターボ専用 ECUデータ 160,000円(税抜)

ショートパーツ&エンジンオイル 30,000円(税抜)

税込み合計金額 905,520円

※ 社外部品の装着状態等により工賃が変動します。

現車を確認後、再度のお見積りとなります。

ブーストは0.5kg以下でご使用下さい。

ローンシュミレーション一例(アプラス) 頭金200,000円 14,600円x60回(初回17,325円) 分割手数料(実質年利9%)

※ 適合車種一覧

インプレッサSPORT	GT7 (2L NA AWD)	XV GT7 (2L NA AWD)
インプレッサSPORT	GT6 (2L NA FWD)	XV GT6 (2L NA FWD)
インプレッサG4	GT7 (2L NA AWD)	
インプレッサG4	GT6 (2L NA FWD)	



AVO Turboworld JAPAN
Homepage



Facebook
AVO Turboworld JAPAN



AVO Turboworld JAPAN
ONLINE SHOP

AVO Turboworld JAPAN

エーヴィオー ターボワールド ジャパン

196-0021 東京都昭島市武蔵野2-13-13

TEL: 042-549-1296

FAX: 042-549-1297

mail:sales@avoturboworld.jp

営業日: 火-土 9:00-18:00

定休日: 日・月・祝日